

# 農研速報

令和5年10月17日発行

茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町3974  
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(10月16日現在、龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	収量平年比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月27日		<p>4月第6半旬～8月第1半旬は、平均気温は平年差+0.8℃、日照時間は平年比120%で推移した。特に、7月第2半旬～第6半旬は、平均気温は平年差+2.4℃、日照時間は平年比179%で推移した。出穂期は「あきたこまち」で1日早く、「ふくまるSL」で3日早く、「コシヒカリ」で6日早かった。</p> <p>登熟期間の気象について、出穂後20日間の平均気温及び積算日照時間は、「あきたこまち」では27.7℃(平年差:+2.3℃)、204時間(平年比:186%)、「ふくまるSL」では27.6℃(同+1.8℃)、192時間(同158%)、「コシヒカリ」では27.9℃(同+1.4℃)、223時間(同147%)だった。出穂後21日から成熟期にかけては、「あきたこまち」では28.4℃(平年差:+1.3℃)、187時間(平年比:121%)、「ふくまるSL」では28.6℃(同+1.6℃)、205時間(同137%)、「コシヒカリ」では28.2℃(同+1.5℃)、197時間(同142%)だった。成熟期は「あきたこまち」及び「ふくまるSL」では平年より1日早く、「コシヒカリ」では4日早かった。</p>
		「あきたこまち」 105	<p><b>【あきたこまち】</b> 成熟期の生育は、平年と比較して稈長が平年並、穂長がかなり長く、穂数が少なく、倒伏程度が小さかった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数が少なく、一穂粒数がかなり多く、千粒重がやや重く、登熟歩合が平年並、精玄米重はやや多かった(平年比105%)。 玄米外観品質は、平年と比較して基白粒が多く、心白粒・背白粒が少なかった。整粒歩合は平年差+2.8%だった。</p>
		「ふくまるSL」 101	<p><b>【ふくまるSL】</b> 成熟期の生育は、平年と比較して稈長が平年並、穂長が長く、穂数が平年並、倒伏程度が平年並だった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数が平年並、一穂粒数がやや多く、千粒重がやや重く、登熟歩合がやや低く、精玄米重は平年並だった(平年比101%)。 玄米外観品質は、平年と比較して基白粒が多く、心白粒・腹白粒が少なかった。整粒歩合は平年差-1.1%だった。</p>
		「コシヒカリ」 109	<p><b>【コシヒカリ】</b> 成熟期の生育は、平年と比較して稈長が平年並、穂長がやや長く、穂数が平年並、倒伏程度が平年並だった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数が平年並、一穂粒数がやや多く、千粒重及び登熟歩合が平年並、精玄米重はやや多かった(平年比109%)。 玄米外観品質は、平年と比較して基白粒・腹白粒が多く、乳白粒・心白粒が少なかった。整粒歩合は平年差-1.3%だった。</p>

地域名	移植時期	収量平年比(%)	作柄概況
	5月8日	「コシヒカリ」 105	<p>5月第2半旬～8月第1半旬は、平均気温は平年差+0.7℃、日照時間は平年比 119%で推移した。特に、7月第2半旬～第6半旬は、平均気温は平年差+2.4℃、日照時間は平年比 179%で推移した。出穂期は平年より3日早い7月 25 日だった。</p> <p>登熟期間の気象について、出穂後 20 日間の平均気温及び積算日照時間は、28.5℃(平年差: +1.4℃)、207 時間(平年比: 138%)だった。出穂後 21 日から成熟期にかけては、28.1℃(平年差: +2.2℃)、198 時間(平年比: 163%)だった。成熟期は平年より4日早い9月4日だった。</p> <p><b>【コシヒカリ】</b>  成熟期の生育は、稈長がやや短く、穂長が平年並、穂数が平年並、倒伏程度はかなり小さかった。  収量構成要素は、穂数、一穂粒数が平年並、千粒重がやや重く、登熟歩合がやや高く、精玄米重はやや多かった(平年比105%)。  玄米外観品質は、平年と比較して背白粒・基白粒が多く、乳白粒・心白粒が少なかった。整粒歩合は平年差-14.5%だった。</p>

# 水稻の生育状況

表1 移植時期・品種別の生育・収量（龍ヶ崎市）

移植 時期 (月日)	品 種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (0~5)	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	7/11 (7/11)	±0 (7/11)	-1 (7/12)	8/19 (8/22)	-3 (8/22)	-1 (8/20)	84 (90)	93 (90)	100 (84)	19.2 (18.6)	103 (17.7)	108 (17.7)	482 (542)	89 (542)	90 (534)	0.8 (3.5)	-2.7 (3.5)	-1.3 (2.1)
	ふくまるSL	7/13 (7/15)	-2 (7/15)	-3 (7/16)	8/22 (8/26)	-4 (8/26)	-1 (8/23)	81 (86)	94 (86)	98 (83)	19.8 (18.1)	109 (18.6)	106 (18.6)	514 (553)	93 (553)	100 (513)	3.0 (4.0)	-1.0 (4.0)	+0.4 (2.6)
	コシヒカリ	7/18 (7/22)	-4 (7/22)	-6 (7/24)	8/28 (9/1)	-4 (9/1)	-4 (9/1)	94 (92)	102 (92)	102 (92)	20.0 (19.2)	104 (19.4)	103 (19.4)	456 (441)	103 (441)	104 (440)	3.5 (2.3)	+1.2 (2.3)	+0.6 (2.9)
5/8	コシヒカリ	7/25 (7/24)	+1 (7/24)	-3 (7/28)	9/4 (9/6)	-2 (9/6)	-3 (9/7)	93 (95)	98 (97)	96 (97)	19.4 (18.3)	106 (19.3)	101 (19.3)	435 (431)	101 (431)	99 (439)	0.5 (3.3)	-2.8 (3.3)	-2.9 (3.4)

移植 時期 (月日)	品 種	精玄米重			一穂粒数			m <sup>2</sup> 当たり粒数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (100粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年差 (%)	平年差 (%)
4/27	あきたこまち	64.5 (62.2)	104 (62.2)	105 (61.4)	77.7 (70.4)	110 (70.4)	114 (67.9)	375 (379)	99 (379)	103 (363)	21.3 (20.9)	102 (20.9)	105 (20.3)	81.8 (80.0)	+1.8 (80.0)	-1.7 (83.5)
	ふくまるSL	66.7 (66.5)	100 (66.5)	101 (66.3)	70.6 (70.2)	101 (70.2)	105 (67.5)	363 (371)	98 (371)	106 (343)	23.9 (23.1)	103 (23.1)	104 (23.0)	79.1 (78.3)	+0.8 (78.3)	-5.4 (84.5)
	コシヒカリ	62.7 (59.4)	106 (59.4)	109 (57.6)	82.2 (74.7)	110 (74.7)	104 (78.9)	374 (342)	109 (342)	107 (350)	21.0 (21.3)	99 (21.3)	102 (20.6)	80.7 (82.3)	-1.6 (82.3)	+0.7 (80.0)
5/8	コシヒカリ	59.7 (60.5)	99 (60.5)	105 (56.8)	75.4 (73.2)	103 (73.2)	99 (75.9)	327 (356)	92 (356)	97 (338)	21.5 (21.4)	100 (20.9)	103 (20.9)	85.2 (80.6)	+4.6 (80.6)	+4.1 (81.1)

注) 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価、カッコ内の数値は前年または平年の実測値

平年値：平成30年～令和4年の5年間の平均値。ただし、ふくまるSLの平年値は、平成30年～令和2年はふくまるのデータを使用した。

表2 移植時期・品種別の玄米外観品質（龍ヶ崎市）

移植時期 (月日)	品 種	整粒歩合 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			背白粒 (%)			基白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	69.1	-6.3	+2.8	0.5	-1.0	-1.1	5.1	-2.7	+1.4	0.0	-0.8	-16.8	9.4	+3.3	-4.0	5.3	+3.6	+2.2
			(75.4)	(66.3)		(1.5)	(1.6)		(7.8)	(3.7)		(0.8)	(16.8)		(6.1)	(13.4)		(1.7)	(3.1)
	ふくまるSL	72.0	-8.9	-1.1	0.8	-1.9	-1.7	4.5	-1.1	+0.8	0.0	-0.3	-8.1	1.1	+0.8	+0.3	2.1	+1.5	+1.3
			(80.9)	(73.1)		(2.7)	(2.5)		(5.6)	(3.7)		(0.3)	(8.1)		(0.3)	(0.8)		(0.6)	(0.8)
	コシヒカリ	59.0	+8.8	-1.3	0.2	-0.2	-1.3	7.4	-14.3	-3.7	0.0	-0.7	-16.1	8.4	+2.3	+2.1	12.2	+1.0	+7.9
			(50.2)	(60.3)		(0.4)	(1.5)		(21.7)	(11.1)		(0.7)	(16.1)		(6.1)	(6.3)		(11.2)	(4.3)
5/8	コシヒカリ	51.3	-17.5	-14.5	0.1	-0.5	-2.0	5.7	-7.2	-2.4	0.0	-0.6	-13.1	22.5	+19.8	+17.2	6.9	+2.7	+3.7
			(68.8)	(65.8)		(0.6)	(2.1)		(12.9)	(8.1)		(0.6)	(13.1)		(2.7)	(5.3)		(4.2)	(3.2)

移植時期 (月日)	品 種	腹白粒 (%)			その他 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	1.7	+1.6	+1.1	11.0	+3.2	+7.3
			(0.1)	(0.6)		(7.8)	(3.7)
	ふくまるSL	3.7	+2.4	-6.6	16.1	+7.6	+13.0
			(1.3)	(10.3)		(8.5)	(3.1)
	コシヒカリ	5.2	+2.4	+4.0	9.8	+1.0	+6.7
			(2.8)	(1.2)		(8.8)	(3.1)
5/8	コシヒカリ	4.0	-0.2	+2.3	12.4	+6.1	+9.2
			(4.2)	(1.7)		(6.3)	(3.2)

注1) カッコ内の数値は前年または平年の実測値

注2) 玄米外観品質は目視による調査。その他は、被害粒・着色粒・死米等を合計したもの  
複合的に白未熟粒が発生したため、数値の合計が100を超えている

注3) 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価 注4) 平年値：平成30～令和4年の5年間の平均値

【栽培概要】

1. 苗質：稚苗

2. 植え付け本数：5本/株

3. 栽植密度 あきたこまち・ふくまるSL 18.5株/m<sup>2</sup>、コシヒカリ 15.2株/m<sup>2</sup>

4. 基肥量 あきたこまち N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O = 0.7：0.7：0.7(kg/a)

ふくまるSL N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O = 0.8：0.8：0.8(kg/a)

コシヒカリ N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O = 0.6：0.6：0.6(kg/a)

5. 追肥時期および追肥施用量

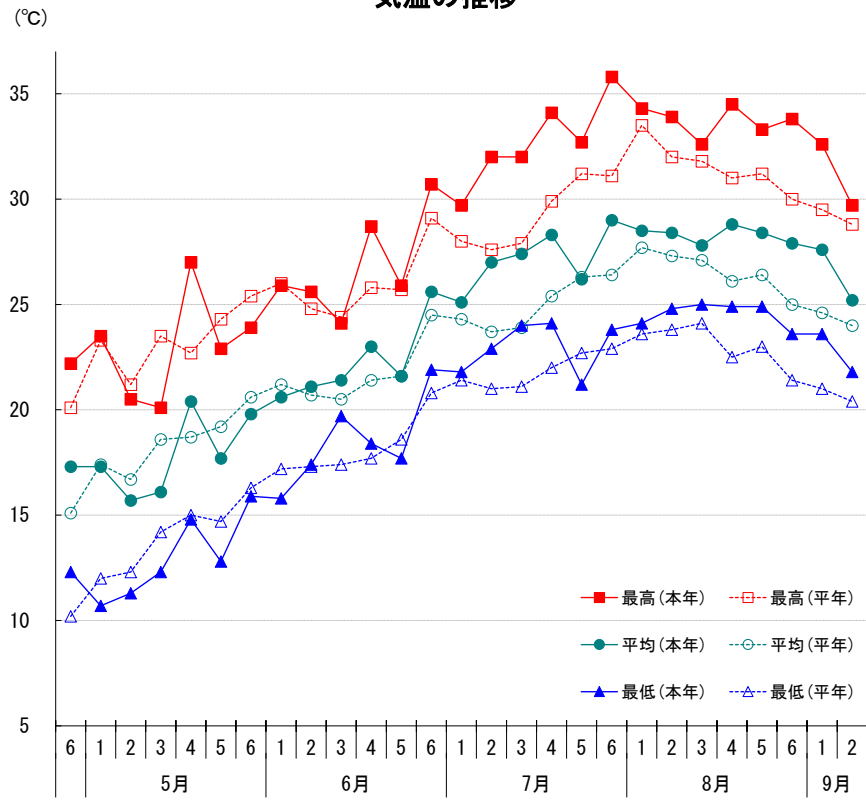
(4月27日移植) あきたこまち 6月27日 N：K<sub>2</sub>O = 0.3：0.3(kg/a)

ふくまるSL 6月27日 N：K<sub>2</sub>O = 0.4：0.4(kg/a)

コシヒカリ 7月5日 N：K<sub>2</sub>O = 0.3：0.3(kg/a)

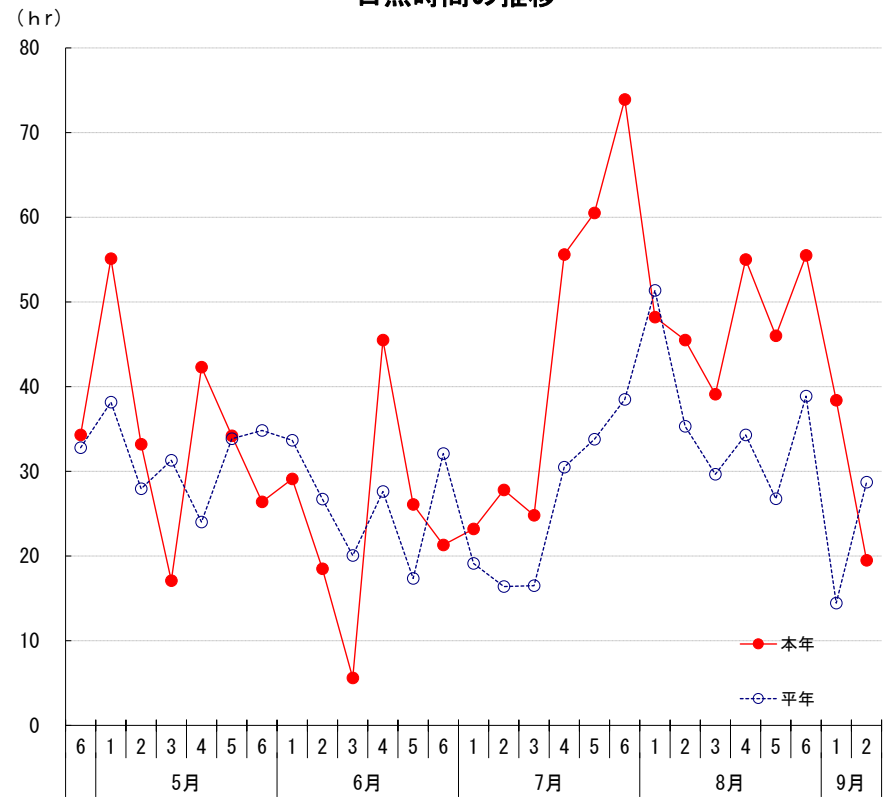
(5月8日移植) コシヒカリ 7月12日 N：K<sub>2</sub>O = 0.3：0.3(kg/a)

### 気温の推移



注) 平年値:平成30年~令和4年の5年間の平均値  
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

### 日照時間の推移



注) 平年値:平成30年~令和4年の5年間の平均値  
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成